



たきぐち学

令和2年 第1回定例会報告

令和2年第1回定例会が閉会しました。令和2年度予算、一般会計7兆3,540億円(過去最大だった昨年度に次ぐ規模)、特別会計(16会計)6兆134億円、公営企業会計2兆848億円の合計15兆4,522億円を可決、成立しました。また、新型コロナウイルス感染症対策としての令和元年度および令和2年度の補正予算も可決しました。

新型コロナウイルス感染症対策 総額512億円の財政措置

スマートフォンはQRコードからアクセス

都民ファーストの会東京都議団は、これまで8度にわたり知事へ緊急要望を行い、東京都は支援策を拡充しています。

最新の情報は、新型コロナウイルス感染症対策サイトへ

東京都 新型コロナ感染症対策

検索

インターネットで検索



相談体制の強化

コールセンター

TEL.0570-550571 (9時~21時 / 土日祝含む)

- 回線数を4回線から6回線に増加
- 多言語(英語、中国語、韓国語)での対応
- 聴覚障がい者に対するFAXでの対応

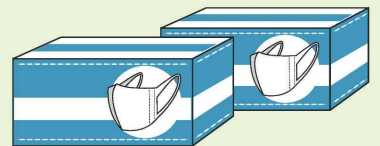
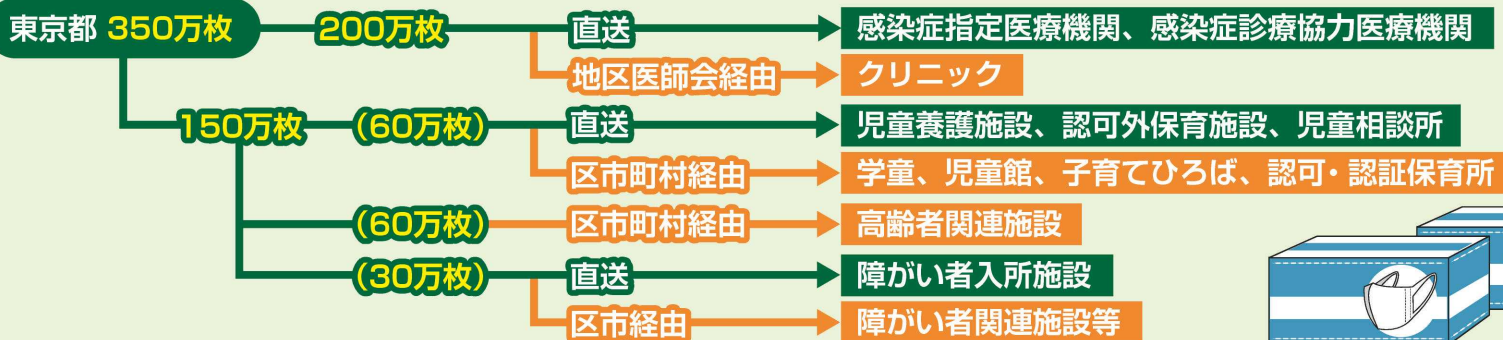
受診相談窓口

- 平日8時30分~17時15分
TEL.03-3802-4243 (荒川区保健所)
- 平日17時~翌9時 / 土日祝24時間
TEL.03-5320-4592



緊急購入マスク提供

(3/19発表) 区市町村へ20万枚提供(3/6発表) したことに加えて配布を決定



子育て・教育への支援

- 学童クラブの午前中からの開設に国の支援に都が上乗せ補助
- 特別支援学校等の臨時休校に伴う放課後等デイサービスの利用増に支援
- 児童館等見守り支援の職員配置など区市町村が独自に行う取り組みを支援
- 認可保育所や認証保育所等の中に小学生の一時預かり専用スペースを確保
- ベビーシッター利用支援事業等の対象者に小学生を追加
- 子ども食堂の臨時休止した場合の準備経費を支援
- 子ども食堂の宅配等による食事を提供する事業者を支援ほか

企業などへの支援

- 返済猶予が可能になる融資を新設(新型コロナウイルス感染症対応緊急借換)
 - 資金がひっ迫している事業者へ制度融資を新設(危機対応融資)
【問合せ】 TEL.03-5320-4877 (産業労働局金融部金融課)
 - 中小企業等、フリーランスを含む個人事業主に対する特別相談窓口の設置
<資金繰り> TEL.03-5320-4877 (産業労働局 金融部 金融課)
<経営> TEL.03-3251-7881 (東京都中小企業振興公社 総合支援課)
 - 非正規雇用を含む中小企業の従業員向けに100万円(上限)の無利子融資を開始
【問合せ】 TEL.03-5320-4653 (産業労働局 雇用就業部 労働環境課)
- このほか、緊急労働相談、専門家派遣、テレワークなど

東京都産業労働局 新型コロナウィルス対策

検索

インターネットで検索



本会議・予算特別委員会



本会議・代表質問に
対して小池知事が答弁

産前・産後ケアの大幅な拡充を!

とうきょうママパパ応援事業

- 保健師等専門職による**妊婦全員面接**
- 産後ケア拡充(区市町村を全額補助)
- 産後の**家事・育児サポーター**派遣
(第一子60時間、第二子以降180時間 ※要件あり)
- 双子などの**多胎児支援**(移動支援、2歳までのサポーター派遣
<0歳 240時間>、交流会・経験者による訪問支援)
- 訪問や検診等の機会が少ない**1歳**になったら育児用品を配布



50歳からのシニアライフ支援を!

高齢者になる前からライフプランをイメージ

- 「50歳からのライフプランブック」作成100万部
<対象>50歳以上65歳未満の都民

民生委員・児童委員活動支援の強化を!

民生・児童委員活動の負担増加、少子高齢化などを背景とした委員活動の一層の必要性など、地域における役割が一層高まっている中で、

- **民生委員協議会費等**を拡充
(民生委員の研修等における自己負担を軽減)

✕ 民生・児童委員 充足率
特別区 92.7% 荒川区 96.3%

元気高齢者が輝く「セカンドライフ」の応援を!

- 働きがいのある職場を都が開拓・紹介
- 受け入れ企業には派遣費用を都が負担
- スポーツや文化など生きがい活動を都が支援
- 100歳大学を都立大に開講! 学び直しを支援



病院、高齢者施設における水害版のBCP(事業継続計画)作成支援を!

- 医療機関向けのBCP策定ガイドラインに、新たに**風水害対策**を盛り込む
- ガイドラインに基づいてBCPを策定する病院がアドバイザーを活用できるよう支援
- BCP未策定または改定予定の高齢者施設に、風水害にも対応できるよう講義や演習、アドバイザーを派遣

✕ 地震向けBCP策定済みの割合
災害拠点病院 100%、災害拠点連携病院 約60%
特別養護老人ホーム 約70%、介護老人保健施設 約30%

厚生委員会

3/17 病院経営本部予算 質疑

新型コロナウイルス 感染患者の受入体制強化を!

厚生委員会にて質疑▶



たきぐち

都立(墨東、駒込)・公社(荏原、豊島)の4病院と多摩総合以外にも都内には感染症指定医療機関がある。様々な機能を有する医療機関が適切な役割分担のもと、感染拡大に向けた連携体制の構築が必要。都立・公社病院における受入体制に強化にどのように取り組んでいくか。

東京都

感染症指定医療機関以外の都立・公社病院において感染症患者を受け入れることのできる病棟を2つ確保する。今後、重症度に応じた緊密な連携と役割分担、院内感染対策に講じる。

3/18 福祉保健局予算 質疑

STOP! 薬物乱用

8か国語対応のリーフレット▶



たきぐち

危険ドラッグ、大麻、さらに市販薬の不正使用など、若年層への対策強化とネット上で広がる薬物乱用問題に対して監視を強化すべき!

東京都

大麻の有害性の啓発強化を図るため、小学校高学年にも活用できる新たなDVD、ポスター、リーフレットを作成。危険ドラッグは、ビッグデータ解析等によって、販売サイトや流行品を迅速に把握。処方薬のSNS上での不正販売、市販薬のフリマサイトでの販売対策など、関係機関と連携し、不正流通防止に努める。

木密不燃化10年プロジェクトの延長を!

都が木造住宅密集地域の整備地域を対象に、重点的・集中的な取り組みとして実施してきた「不燃化特区制度」の活用や「特定整備路線」の整備について、支援制度の延長を知事へ要望。

都は、防災都市づくり推進計画の基本方針改定案を発表し、取り組みを2025年度まで**5年間延長**して、引き続き整備地域での不燃化を推進する方針。

要望書を小池知事に提出▶



「出前都議会報告」「都議会見学」

町会や会合などで、都政・都議会の話を聞きたい!!という
ご要望があれば、荒川区内のどこへでも参ります。
また、ご友人と都議会を見学したい!!という方もお気軽にご連絡ください。

FAX 03-6382-8867 Eメール info@t-gaku.com

たきぐち学事務所

〒116-0014
東京都荒川区東日暮里4-20-7

電話 03(6382)8866

ご意見・ご要望を
お寄せください

たきぐち学

検索